

三多摩公立博物館協議会加盟館一覧

No.	館名	住所	電話	交通
1	奥多摩水と緑のふれあい館	〒198-0223 東京都西多摩郡奥多摩町原5	0428-86-2731	JR青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	〒190-0211 東京都西多摩郡檜原村3221	042-598-0880	JR五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	たましん御岳美術館	〒198-0173 東京都青梅市御岳本町1-1	0428-78-8814	JR青梅線「御嶽駅」下車徒歩20分
4	青梅市郷土博物館	〒198-0053 東京都青梅市駒木町1-684	0428-23-6859	JR青梅線「青梅駅」下車徒歩15分
5	あきる野市五日市郷土館	〒190-0164 東京都あきる野市五日市920-1	042-596-4069	JR五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩17分
6	羽村市郷土博物館	〒205-0012 東京都羽村市羽741	042-558-2561	①JR青梅線「羽村駅」西口下車徒歩20分 ②東口コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	八王子市子ども科学館 (コニカミノルタサイエンスドーム)	〒192-0062 八王子市大横町9-13	042-624-3311	JR中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩2分。
8	八王子市郷土資料館	〒192-0902 東京都八王子市上野町33	042-622-8939	①JR中央線「八王子駅」南口から徒歩15分 ②JR中央線「八王子駅」南口からバス「東京家政学院」行き、「上野町三丁目」下車徒歩3分
9	集合住宅歴史館(独立行政法人 都市再生機構 技術研究所)	〒192-0032 東京都八王子市石川町2683-3	042-644-3751	①JR八高線「北八王子駅」下車徒歩10分 ②JR八王子駅より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩5分
10	福生市郷土資料室	〒197-0003 東京都福生市熊川850-1	042-530-1120	JR青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩7分
11	瑞穂町郷土資料館	〒190-1211 東京都西多摩郡瑞穂町石畑1962	042-568-0634	JR八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩18分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	〒208-0004 東京都武蔵村山市本町5-21-1	042-560-6620	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩1分
13	立川市歴史民俗資料館	〒190-0013 東京都立川市富士見町3-12-34	042-525-0860	JR「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車徒歩5分
14	日野市郷土資料館	〒191-0042 東京都日野市程久保550	042-592-0981	①多摩都市モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩5分 ②モノレール「程久保」下車徒歩7分
15	首都大学東京91年館	〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1	042-677-1111	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約5分
16	東大和市立郷土博物館	〒207-0031 東京都東大和市奈良橋1-260-2	042-567-4800	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行または都営バス「青梅車庫」行で「八幡神社」下車 徒歩2分
17	東村山ふるさと歴史館	〒189-0021 東京都東村山市諏訪町1-6-3	042-396-3800	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩8分
18	国立ハンセン病資料館	〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13	042-396-2909	西武池袋線 清瀬駅南口から西武バス 久米川駅行き・所沢駅行きで約10分(「ハンセン病資料館」で下車)
19	くにたち郷土文化館	〒186-0011 東京都国立市谷保6231	042-576-0211	JR南武線「矢川駅」下車徒歩8分
20	たましん歴史・美術館	〒186-8686 東京都国立市中1-9-52	042-574-1360	JR中央線「国立駅」南口前
21	パルテノン多摩歴史ミュージアム	〒206-0033 東京都多摩市落合2-35	042-375-1414	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
22	東京都埋蔵文化財センター	〒206-0033 東京都多摩市落合1-14-2	042-373-5296	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
23	町田市立博物館	〒194-0032 東京都町田市本町田3562	042-726-1531	小田急線・JR横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車徒歩7分
24	府中市郷土の森博物館	〒183-0026 東京都府中市南町6-32	042-368-7921	京王線・JR南武線「分倍河原駅」から京王バス郷土の森総合体育館行きバス「郷土の森正門前」下車
25	小金井市文化財センター	〒184-0003 東京都小金井市緑町3-2-37	042-383-1198	JR中央線「武蔵小金井駅」北口からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車 徒歩5分
26	江戸東京たてもの園	〒184-0005 東京都小金井市桜町3-7-1	042-388-3300	JR中央線「武蔵小金井駅」北口からバス7分「小金井公園西口」下車
27	東京農工大学科学博物館	〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16	042-388-7163	JR中央線「東小金井駅」南口下車徒歩9分
28	清瀬市郷土博物館	〒204-0013 東京都清瀬市上清戸2-6-41	042-493-8585	①西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩10分 ②駅北口バス乗り場1番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩1分
29	多摩六都科学館	〒188-0014 東京都西東京市芝久保町5-10-64	042-469-6100	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩18分 ②西武新宿線「田無駅」北口よりはなバス多摩六都科学館行き
30	調布市郷土博物館	〒182-0026 東京都調布市小島町3-26-2	042-481-7656	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩4分
31	国立天文台天文機器資料館	〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1	0422-34-3688	①JR中央線「武蔵境駅」南口から小田急バス15分「天文台前」下車 ②京王線「調布駅」北口から小田急バス・京王バス15分「天文台前」下車
32	むいから民家園	〒201-0013 狛江市元和泉2-15-5	03-3489-8981	①小田急線狛江駅より徒歩10分②狛江駅北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

催し物案内2013年度秋・冬号

2013年10月～2014年3月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。
「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。

23	町田市立博物館（042-726-1531）				
	考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合開館、翌日休館）、展示替期間、資料整理期間、館内整理期間	入館料	企画により異なりますので、お問い合わせ下さい。 ※中学生以下無料、障がい者半額
<ul style="list-style-type: none"> ●「舛田コレクションーヴェトナム陶磁の二千年」（7.20～9.1、9.7～10.14）日本ベトナム外交関係樹立40周年に合わせて、日本人とゆかりの深いベトナム陶磁の展覧会を開催します。 ●「日本の滑稽絵」（10.26～11.10、11.12～11.24）田河水泡コレクションと当館がコレクション補完のため収集した資料による、江戸から昭和前期までの戯画・風刺画等を紹介しします。 ●「大津絵大図解」（12.14～2014.1.13、2014.1.18～2.11）大津絵の本場、大津市歴史博物館と町田市立博物館の大津絵軸物・額物および屏風などに登場するさまざまなキャラクターを図解し、大津絵の魅力を身近に感じてもらえます。 ●「岩田藤七・久利・糸子：スケッチブックとガラス作品」（2014.3.1～3.30、2014.4.5～5.6）岩田藤七・久利・糸子のスケッチ、ガラス作品、藤七の貝殻コレクション等の資料を通して、芸術家が日々関心を持ち吸収したことがら、どのように熟成し作品として昇華していくのかを探ります。 					
【URL】 http://www.city.machida.tokyo.jp/					

24	府中市郷土の森博物館（042-368-7921）				
	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3 年末年始	入館料	大人200円 4歳～中学生100円
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「カモの常識」（9.21～2014.3.9）冬になると多摩川やその支流を賑わすカモに関するさまざまな情報を、剥製標本やパネルを使って紹介します。 ●「郷土の森梅まつり」（2014年2月～3月上旬）園内に咲き誇る梅の花をお楽しみください。 					
【URL】 http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html					

25	小金井市文化財センター（042-383-1198）				
	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3 館内整備のための臨時休館日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。 ●企画展「地図に見る小金井」（11.3～12.23） 					
【URL】 http://tamahaku.jp/kojin/					

26	江戸東京たてもの園（042-388-3300）				
	江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。				
開館時間	9:00～17:30（入園は17:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	大人400円、中（都外）高生200円 大学生320円、65才以上の方200円 小中（都内）無料
<ul style="list-style-type: none"> ●収蔵品展「武蔵野の歴史と民俗」展（7.20～2014.3.2）記念講演会（10.12） ●「土浦亀城と土浦信子」展（仮）（2013.3.15～5.18） ●体験！発見！職人さん（10.12・13）、紅葉とたてものライトアップ（11.22～24） 正月飾りづくり（12.7・8）、新春の昔遊び（2014.1.11～13）、たてもの園フェスティバル（3.28） 伝統工芸の実演（10.12・13、11.9・10、12.14・15、1.11・12、2.8・9、3.8・9） 					
【URL】 http://www.tatemonoen.jp/					

27	東京農工大学科学博物館（042-388-7163）				
	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。				
開館時間	10:00～17:00（入館は16:00まで）	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日（創立記念日）等	入館料	常設展無料
<ul style="list-style-type: none"> ●科学博物館本館リニューアルオープン周年記念 グッズプレゼント（10.1～5） ●科学博物館本館リニューアルオープン周年記念イベント（10.5） ●特別展「第9回東京シルク展」（10.25～27） ●東京農工大学科学技術展2013（11.8～11） ●ミニ企画展「農機具コレクション（仮）」（12月～2014年1月） ●企画展「衣料から医療へシルクが拓く再生医療（仮）」（2014年1月～4月） ●子供科学教室（10.5、11.9） 					
※日程の詳細は、当館ホームページにてお知らせいたします 【URL】 http://www.tuat.ac.jp/~museum/					

1	奥多摩水と緑のふれあい館（0428-86-2731）				
	水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日（祝日の場合は翌日） 12.28～1.4	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●奥多摩の豊かな自然とダム of の仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業等の紹介及び展示を映像等で分かりやすく紹介している。 ●都民の日の記念行事（10.1）小河内ダムに関するビデオ上映等 ●ヘブンアーティスト公演（10.12）12:00、13:30の2回公演（各回30分位） 東京都認定のヘブンアーティストのパフォーマンス ●中学校吹奏楽演奏（11.3）12:00、13:30の2回公演（各回30分位） 地元中学校吹奏楽部による演奏会 ●奥多摩清流太鼓公演（11.9）11:30、14:00の2回公演（各回30分位） 奥多摩清流太鼓の公演 ●秋のミニコンサート（11.16・17）16日は11:30、14:00の2回公演、17日は11:30、13:20の2回公演（各回70分位） ソプラノ歌手・長谷川友代さんの歌と都民交響楽団（有志）による演奏 ●川野「車人形」上演（2014年3月予定） 日程は調整中 					
【URL】 http://www.okutama.gr.jp/					

2	檜原村郷土資料館（042-598-0880）				
	数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。				
開館時間	4月～11月 9:30～17:00 12月～3月 10:00～16:00	休館日	火曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●「自然と観光」「歴史と民族」の2つをテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具並びに兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などを展示。又、村の祭りを紹介するレーザーディスクや自然の移り変わり及び村の諸行事を収めたDVD「檜原歳時記」（ブルーレイ・ハイビジョン）の鑑賞が常時可能。 ●常設展「自然と観光」「歴史と民族」 ●特別展「檜原村山野草標本展」（10.2～31） 檜原村内で採取した山野草の標本113点を展示する。 ●「まゆ玉飾り」（1.12～16） 家内安全と五穀豊穡を祈願した、村に古くから伝わる小正月の行事。 ●「檜原村野鳥写真展」（2.15～3.14） 檜原村で撮れた野鳥の写真20点を展示する。 					
【URL】 http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryoukan/siryoukan.html					

3	たましん御岳美術館（0428-78-8814）				
	明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。				
開館時間	10:00～16:30 （11月～3月は16:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	一般500円、高大生400円 小中生300円
<ul style="list-style-type: none"> ●多摩信用金庫創立80周年記念・御岳美術館開館20周年記念展 後期（9.29～2014.2.23） 第1展示室—倉田三郎初公開作品—油彩外国風景 倉田三郎記念室—倉田三郎初公開作品—旅の素描 ブルガリア・ハンガリーを描く ●近代美術の流れ 昭和の絵画Ⅱ ●常設展示「日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち」 出品作家：荻原守衛、中村彝、中原悌二郎、曾宮一念、高村光太郎 他 ●スケッチの日 開館記念日（11.2～4） 当日、入館すればスケッチできます。初めて筆をもつ方もお気軽にどうぞ。画材は無料で貸出。記念品をプレゼント！ 					
【URL】 http://www.tamashin.or.jp/mitake.html					

4	青梅市郷土博物館（0428-23-6859）				
	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日） 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「青梅のスポーツ」（8.17～12.23） カヌーや青梅マラソンなど青梅のスポーツの歴史と今について紹介します。 ●企画展「戦国時代の青梅」（仮）（2014.1.11～3.23） 青梅の戦国時代について三田氏と北条氏を中心に関連資料を展示・紹介します。 					
【URL】 http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html					

5	あきる野市五日市郷土館（042-596-4069）				
	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料も。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日 (水曜日が祝日の場合は翌日も) 年末年始	入館料	無料
<p>●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然、化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で始めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。</p> <p>●旧市倉家住宅での歳時事業 秋季期間（10～12月まで）：十五夜の飾付、大麦・小麦の種蒔、のらぼう菜苗の植付、破魔矢・羽子板展示、餅つき、さつまいも収穫 冬季期間（1～3月まで）：繭玉飾り、雛人形の展示、のらぼう菜の収穫</p> <p>【URL】 http://www.city.akiruno.tokyo.jp/contents_detail.php?co=cat&frml=1285&frCd=3-4-4-0-0</p>					

6	羽村市郷土博物館（042-558-2561）				
	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～18:00（4月～9月） 9:00～17:00（10月～3月）	休館日	月曜日（祝日の場合は開館） 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●企画展「玉川上水 かたちとやくわりのヒミツ」（～12.15） 模型やパネルを使い、玉川上水の仕組みを分かりやすく紹介します。</p> <p>●ミニ企画展「都新聞時代の介山—『大菩薩峠』を執筆しはじめた頃—」（～11.17） 中里介山の新聞記者時代の写真、小説『大菩薩峠』の執筆の背景などを展示します。</p> <p>●季節展示「正月かざり」（2014.1.4～19）「まゆ玉かざり」（2014.1.12～19）</p> <p>●企画展「むかしのくらし」（2014.1.10～26）「ひな人形展」（2014.2.8～3.9）</p> <p>【URL】 http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</p>					

7	コニカミノルタ サイエンスドーム（八王子市子ども科学館）（042-624-3311）				
	プラネタリウムと基礎物理を中心とした参加体験型の展示。				
開館時間	10:00～17:00 (ただし火～金曜9:00～12:00 は団体専用で開館)	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始 など（夏休み期間は無休）	入館料	大人200円、4歳～中学生100円 (プラネタリウム料金別)
<p>●プラネタリウム投影番組 「アイソン彗星を見よう！～巨大彗星がやってくる～」(～12.28)、「銀河鉄道の夜」(～2014.1.13) など</p> <p>●星空コンサート「懐かしのメロディー～ギターと歌声とトークの夕べ」(10.26) 18:30～19:30 出演「シューベルツ.COM」(入場料大人300円、4歳～中学生100円 申込はお電話で受付)</p> <p>●科学工作教室、科学実験ショー、かんたん工作室など（土・休日開催）</p> <p>【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/gakushu/sciencedome/</p>					

8	八王子市郷土資料館（042-622-8939）				
	八王子の歴史と民俗。車人形や織物の体験も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、 祝日の翌日、年末年始、 その他館内整理日	入館料	無料
<p>●特別展「大久保長安と八王子」（10.22～11.24）現在の八王子の街は、江戸時代の町割をそのまま引き継いでいます。この町割は、代官の大久保長安が指示したといわれています。今回は大久保長安と八王子に関連する資料を紹介します。</p> <p>●コーナー展「七福神 八王子の恵比寿・大黒」（12.17～2014.1.24）</p> <p>●特別展「八王子の産業ことはじめ」（2014.2.4～3.23）明治時代は、八王子で様々な産業が興り成長した時期でもありました。機物や製糸をはじめとする八王子の産業を紹介します。</p> <p>【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/rekishibunkazai/kyodoshiryokan/index.html</p>					

9	集合住宅歴史館（独立行政法人 都市再生機構 技術研究所）（042-644-3751）				
	歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。				
開館時間	13:30～16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始 (2013年4月～)	入館料	無料 ※事前予約制
<p>●日本住宅公団昭和30年代の団地や同潤会アパートなどを移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。関東大震災復興のため建設された同潤会アパートは今年の夏の上野下アパート解体によりすべて姿を消してしまいました。集合住宅歴史館では“同潤会代官山アパート”と昭和30年代に建設された“公団住宅”を移築・復元し公開していますので、集合住宅の歴史を実物を見て・聞いて・学ぶことができる施設です。また同じ敷地にある研究施設とあわせてご覧いただくと集合住宅のことをより深く理解いただけます。</p> <p>※事前予約制 予め電話・ホームページで申込みください。 【URL】 http://www.ur-net.go.jp/rd/</p>					

19	くにたち郷土文化館（042-576-0211）				
	国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。				
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2、第4木曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●秋季特別展「谷保の歌が聞こえる～歌と共にみる村の暮らし～」(10.26～12.9 休館日11.14・28) 人々の暮らしを、労作歌や祝歌などの歌から振り返ります。</p> <p>●「ハケから学ぶ」(10.12・17・19) 「ハケ」(河岸段丘)について、講座とフィールドワークから学びます。</p> <p>●「郷土文化館まつり」(10.26・27) 太鼓や踊り、箏・尺八、吟詠などに取り組む団体が日頃の成果を発表します。27日には、くにたちで人気のパン、鯛焼きのお店も来ます。</p> <p>●「むかしのくらし展」(2014.1.11～3.10 予定) むかしの道具や暮らしについて展示します。</p> <p>※詳細はHPをご覧ください 【URL】 http://www.kuzaidan.com/province/index.html</p>					

20	たましん歴史・美術館（042-574-1360）				
	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。				
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日 年末年始	入館料	100円 ※中学生以下無料
<p>●東洋古陶磁展Ⅰ「日本の古陶磁」(9.10～10.13) ギャラリートーク (10.5) 14:00～</p> <p>●東洋古陶磁展Ⅱ「中国・朝鮮の古陶磁」(10.29～12.8) ギャラリートーク (12.7) 14:00～</p> <p>●収蔵作品展 (2014.1.7～3.23)</p> <p>【URL】 http://www.tamashin.or.jp/</p>					

21	パルテノン多摩歴史ミュージアム（042-375-1414）				
	多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。				
開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休(9.10・11、10.16・17、 11.12・13、12.27～1.3、1.21 ～23、2.18～20、3.11・12)	入館料	無料
<p>●企画展「地域を彩る盆踊り」(～11.11) 多摩ニュータウン開発の前後に注目し、多摩市域における盆踊りの役割について考える。</p> <p>●企画展「多摩丘陵の谷戸(仮)」企画展「多摩丘陵の谷戸(仮)」(11.14～2014.3.10) 谷戸地形の歴史や特徴を紹介する。</p> <p>●みんなの植物観察会(毎月第2火曜日)</p> <p>●植物観察会ステップアップコース(毎月第4木曜日)</p> <p>●企画展「探検・多摩川～調布多摩川惣画図の世界～」(第Ⅰ期:2014.3.14～4.20 第Ⅱ期:4.21～7.7) 調布多摩川惣画図の細部を展示し、現在の地域を見つめた多摩市内小中学校ESD教育の成果も紹介する。</p> <p>【URL】 http://www.parthenon.or.jp/museum/ 【ツイッター】 @par_tama_museum</p>					

22	東京都埋蔵文化財センター（042-373-5296）				
	都内各地の埋蔵文化財を展示。遺跡公園「縄文の村」を併設。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	12.29～1.3(年末年始) 3.10～14(展示替え)	入館料	無料
<p>●考古学実習「遺構を実測してみよう」(10.5)</p> <p>●第3回文化財講演会(12.7)</p> <p>●「縄文の村」自然観察会(10.19)</p> <p>●縄文アクセサリー作り教室(⑥2014.1.25 ⑦2014.3.29)</p> <p>●縄文食体験①・②(10.26・27)</p> <p>●多摩市共催文化財講演会(①2014.2.12 ②2014.2.19 ③2014.2.26)</p> <p>●貝のプレスレット作り教室(11.9)</p> <p>●展示説明会(2014.3.15)</p> <p>●古代の布作り教室③(11.16)</p> <p>●平成25年度遺跡発掘調査発表会(2014.3.21)</p> <p>●トンボ玉作り教室(③11.30 ④12.21 ⑤11.18 ⑥2014.2.8)</p> <p>【URL】 http://www.tef.or.jp/maibun/</p>					

10	福生市郷土資料室（042-530-1120）				
	福生の歴史・民俗・自然を紹介。膳枕倉も復元展示。				
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日（祝日の場合は翌日休館）、年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展示「旧熊川村の世界」（9.21～11.17）平成24年度に福生市登録有形文化財となった、旧熊川村の名主家である石川家に伝わる資料を通して、江戸時代以降の熊川村について紹介します。また、関連事業も実施します。 ●ミニ展示「スポーツ写真展」（～11.17）国体開催期間に合わせ、福生市郷土資料室で所蔵する古写真類の中から、スポーツ関連写真を紹介します。（「旧熊川村の世界」と同時開催） ●企画展示「小正月飾りとミキノクチ」（11.23～2014.1.26）西多摩地区に伝わる小正月の飾り物をはじめ、お正月の飾り物であるミキノクチと、その製作技術等を紹介いたします。 ●特別展示「資料が語る福生の歴史」（2014.2.1～4.13）市の指定文化財や登録文化財をはじめとする多くの実物資料を通して、福生の歴史を通史的に学ぶことができる展示を行います。 【URL】http://www.museum.fussa.tokyo.jp 					

11	瑞穂町郷土資料館（042-568-0634）				
	瑞穂町の歴史と民俗資料を展示。囲炉裏端の再現も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日、祝日、毎月16日（16日が月曜・祝日の場合は翌日、土・日曜日の場合は開館）	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示（通年）瑞穂町郷土資料館では、昭和30年代頃の暮らしを再現した囲炉裏端をはじめ、伝統工芸品である村山大島紬や多摩だるま、狭山丘陵周辺の遺跡から出土した旧石器・縄文時代の遺物などを展示しています。 ●企画展「水・緑と観光を繋ぐ回廊計画—歴史と文化の回廊展—」（仮称）（10.26～2014.1.31）回廊計画の6つのルートのうち、今年度については回廊1「歴史と文化とモニュメントのルート」を紹介します。 【URL】http://www.town.mizuho.tokyo.jp/shisetsu/kyoudo.html 					

12	武蔵村山市立歴史民俗資料館（042-560-6620）				
	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「横中馬獅子舞」（10.5～12.8） ●文化財見学会「横中馬獅子舞をめぐる」（10.19） ●歴史講座「三匹獅子と横中馬獅子舞」（11.16）講師：城崎陽子氏（市文化財保護審議会委員） ●年中行事展「正月飾り」（12.21～2014.1.13） ●年中行事展「桃の節供」（2014.2.1～3.5） ●自然観察会「狭山丘陵の早春」（2014.3.8） ●ミニ企画展「武蔵村山の戦争資料」（2014.3.10～31） 【URL】http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html 					

13	立川市歴史民俗資料館（042-525-0860）				
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺きの古民家園。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示 原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介する。 ●企画展「合併50周年 立川市と砂川町」（11.1～12.1）立川市と砂川町合併50周年を記念して、立川と砂川それぞれ歩んできた歴史と、合併までの道のりを振り返ります。 ●東京文化財ウィーク関連事業「銅鉦鼓」特別展示（11.1～12.1）立河原合戦を実証する貴重な史料を公開します。 ●ミニ展示「桃の節供展」（2014.2.1～3.9）市内幸町の古民家でも展示します。 ●企画展「新収蔵品展」（2014.3.18～4.20）今年度新たに収蔵された資料を紹介します。 ●講演会 市広報・ホームページ等で随時お知らせします。 【URL】http://www.city.tachikawa.lg.jp/cms-sypher/www/section/detail.jsp?id=154 					

14	日野市郷土資料館（042-592-0981）				
	日野の歴史・民俗・自然を体験できる資料館。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「日野市の半世紀～移りゆくまちの過去と今そして未来」（5.3～7.28 予定）市制施行50周年を記念し、郷土資料館は全体タイトルを「日野市の半世紀～移りゆくまちの過去と今そして未来」とする展示を3つの会場で開催します。工業、観光、宅地化、遊びといった視点で多様な資料を紹介。関連企画など詳細問合せは日野市郷土資料館へ。 ●工業都市の変遷（10.16～12.15）会場：日野市立新選組のふるさと歴史館、入館料：大人200円 小中学生50円 ●七生丘陵の今昔（10.1～27）会場：高幡図書館2階 ●昔の遊びと Made in HINO（10.22～11.10）会場：日野宿交流館 【URL】http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/ 					

15	首都大学東京 91 年館（042-677-1111・内線 2041）				
	大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。				
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。 ●企画展「東京の大地を探る—関東平野300万年の歴史—」（10.26～11.10）身近な自然である東京の地形・地質とその最新の研究成果を、地図、写真、地質試料などをもとに紹介します。11月4日には関連する講演会も開催します。※詳しい情報はウェブサイトをご覧ください。 【URL】http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html 					

16	東大和市立郷土博物館（042-567-4800）				
	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムもある。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料（プラネタリウムは有料）
<ul style="list-style-type: none"> ●ロビー展示「街の中は顔だらけ」（9.14～11.4） ●野草スケッチ展「植物画を描く」（10.19～12.8） ●東大和市内狭山丘陵文化財めぐり～東コース編（10.20） ●（仮称）東大和郷土美術館特別公開：美術館でお茶会（10.27）／秋の特別公開（11.23） ●自然観察会：どんぐり工作（10.19）／野草教室（11.4）／バードウォッチング（12月） ●昼間の星の観察会（2014年1月） ●プラネタリウム：秋番組「ほうき星☆ふしぎな星」（9.14～12.27）／アンコール番組「ワナビ～スプラネタリウム」（9.14～12.15）クリスマス特別番組（12.21・22・23） ※プラネタリウムは2014.1.5～3.14まで投影機入替のためお休みします 【URL】http://www.city.higashiyamato.lg.jp 					

17	東村山ふるさと歴史館（042-396-3800）				
	「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。				
開館時間	9:30～17:00（入館は16:30まで）	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「徳蔵寺展—元弘の板碑と寺にまもられてきた文化財—」（9.28～12.1）徳蔵寺の歴史や、徳蔵寺が所蔵する元弘三年の板碑（国重要文化財）をはじめとする文化財等の紹介をします。 ●企画展「なつかしい暮らしと道具たち」（2014.1.8～3.9）市内の小学校の学習「昔さがし」に対応した展示を行います。平日の午前中にはボランティアの方たちと小学生が学習していますが、昭和以前の道具から昭和までのなつかしいモノの展示を行います。 【URL】http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/ ◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 TEL 042-390-2161 休館日：毎週月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館） 【URL】http://172.31.16.22/tanosimi/rekishu/furusato/index.html 					

18	国立ハンセン病資料館（042-396-2909）				
	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。				
開館時間	9:30～16:30（入館は16:00まで）	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●秋季企画展「想いでできた土地 多磨全生園の記憶・くらし・望みをめぐる」（10.5～12.27）多磨全生園は、入所者が仲間と共に生きてきた記憶を刻み、現在のくらしを営み、自分たちがいなくなった後の将来への望みを込めている場所です。数ある多磨全生園のスポットから63ヶ所をご紹介します。会期中フィールドワークを実施します。 ●開館20周年記念事業 座談会 テーマ「資料館の設立、活動、これからへの期待を語る」（11月） 【URL】http://www.hansen-dis.jp/ 					